

# ヒガンバナ

秋のお彼岸が近くなると地面から花茎を伸ばし赤く燃えるような花を咲かせ、花弁は反り返り展開し、糸のようなおしべとめしべを伸ばします。花が終わると葉が出てきます。花と葉が同時に出ることはありません。葉を付けたまま冬を越し球根に栄養を蓄え夏に地上部が枯れ休眠します。

水生物園（分園）では、白いヒガンバナがご覧になれます。



ヒガンバナ(赤)



つぼみ



開き始めた花弁



ヒガンバナ(白)

A

山野草園



ヤブラン



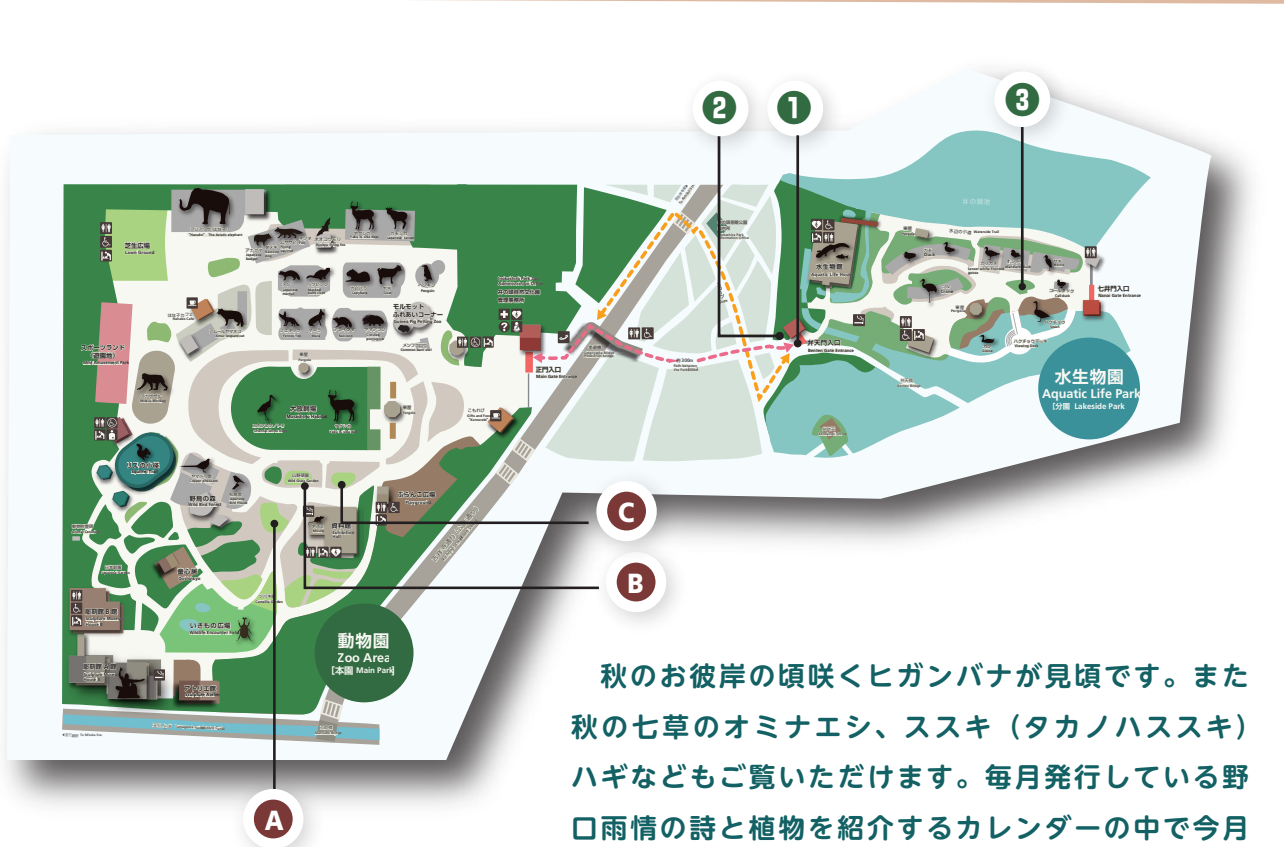
ミズヒキ



キンミズヒキ

花の姿を紅白の水引に譬えたミズヒキ、これに似た花の付きかたから名づけられたキンミズヒキ共に縁起の良い名前です。ミズヒキとキンミズヒキは共にめでたい名前です。

種子の表面にトゲがあり人や動物にくっついて移動し子孫を残し特徴も似ていますがミズヒキはタデ科でキンミズヒキはバラ科なので全く別の植物です。



秋のお彼岸の頃咲くヒガンバナが見頃です。また秋の七草のオミナエシ、ススキ（タカノハススキ）ハギなどもご覧いただけます。毎月発行している野口雨情の詩と植物を紹介するカレンダーの中で今月はハギを紹介しています。井の頭自然文化園正門、弁天門、七井門、童心居でお配りしています。数に限りがあるのでお早めにお取りください。

番号の場所でご覧いただけます



ハギ



台湾ホトトギス



マツカゼソウ



コアカソ



タカノハススキ

葉に斑が入るのが特徴です



オミナエシ



オトコエシ



# 花ごよみ

2016年  
9月16日  
157号

発行  
公財)東京動物園協会  
井の頭自然文化園